

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 多摩市立永山小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他（ ）

所在地 〒206-0025
東京都多摩市永山2-8-1

E-mail daihyo-nagayama-sho@city.tama.ed.jp

Website <http://schit.net/tama/esnagaya,ma/>

児童生徒数 男子 241名 女子 200名 合計 441名
児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ 福祉 ）



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



UNESCO
Associated
Schools

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

本校では、「福祉」をテーマに総合的な学習の時間から第6学年通して学習を積み重ねていくことで、障がいに対する理解を深め、自分に何ができるのかを考え行動できるようにしています。

第3学年 単元名「仲良くなろう わかくさ学級と」

ねらい 永山小学校の特色でもある特別支援学級（わかくさ学級）の児童について理解を深め、どのように関わったらよいかを追求することにより、さまざまな人とのかかわりに目を向け、互いの特色を理解しあって生活していこうとする意欲を育てる。



わかくさ学級の友達と遊ぶ様子 わかくさ太鼓を一緒に発表する様子

わかくさ学級と一緒に遊ぶ体験活動から始まります。特別支援学級の担任から障がいについての話を聞いたり、どんなことを学習しているのかインタビュー活動をして調査したり交流したりします。最後はわかくさ学級と一緒にできることを考え、今年度は「わかくさ太鼓」を一緒に発表しました。

子供たちは、障がいについて知ることができると同時に、「これからもわかくさ学級の友達と交流を続けていきたい。」「わかくさ学級の友達とまた一緒に学習したい。」という感想をいただくことができました。

第4学年 単元名「だれもがかかわり合えるように」

ねらい 視覚障がいや聴覚障がいのある地域の方との交流を通して、共に生きていくことについて考える。



点字を教わっている様子



手話を教わっている様子

視覚障がい・聴覚障がいのある方を学校へ招待し、ゲストティーチャーとしてお話を聞きます。障害のある方がコミュニケーションをとる手段として点字や手話などがあることを知り、さらに自分で調べたいことを課題に設定します。まとめたものを発表し合い、視覚障がいや聴覚障がいについて、さらに理解を深めました。

子供たちは、日常生活において、障害のある方と出会ったとき、「手話であいさつをしたい。」「盲導犬を連れての方が本当に困っているかどうかを見て、困っていたら声をかけたい。」と考えることができるようになりました。

第5学年 単元名「共に学び、共に生きる」

ねらい 車いす、介助、障がい者スポーツについて調べたり、体験したりすることを通して、障がいのある人の生活や思いを知り、共に生きるために自分にできることを考える。



多摩社会福祉協議会の方から、車いすの扱い方について教わり、車いす体験をしている様子

車いす体験を通して、普段は何とも感じない段差や坂道を通ることが大変だということや、介助する方の大切さを体感します。また、障がい者スポーツを体験することで、障がいのある方でも活躍する場があることを知ります。そのことから、自分がさらに調べてみたいことを課題に設定し、調べ学習を行います。まとめたものを発表し合い、理解を深めました。

子供たちは、オリンピックだけでなく、パラリンピックにも興味をもったり、障がいのある方へできることを考えたりすることができるようになりました。

第6学年 単元名「みんなで生きる町」

ねらい

高齢者疑似体験や高齢者へのインタビューから、高齢化社会の問題や福祉の在り方について考える。

地域を探索し、ユニバーサルデザインなどの誰もが安全・安心に暮らせるための工夫を知り、地域の一員として安全・安心に暮らすために自分たちができることを考える。



高齢者疑似体験の様子

少子高齢社会の現状を知った上で、高齢者疑似体験を通して、高齢者の方の大変さを体感します。自分たちが調べてみたいことを書き出し、ユニバーサルデザインや高齢者へのインタビューなどを課題に設定し調べ学習をしました。

子供たちは、「障がいのある方や高齢者が困っていたら、声をかけるようにしたい。」「前は高齢者に対してイライラすることがあったけれど、待ったり我慢したりするようにしたい。」と考えるようになりました。また、永山のより良いまちづくりについて考えを深めることができました。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）